

議案第46号

議会の議決に付すべき公の施設の利用及び廃止に関する条例の一部を改正する
条例について

沼田市議会会議規則第13条第2項の規定により、首記議案を別紙のとおり提出します。

平成31年3月18日提出

沼田市議会議長 星 野 稔 様

提出者	議会運営委員会	委員長	久保健二
賛成者	同	副委員長	大島崇行
	同	委員	星野佐善太
	同	委員	野村洋一
	同	委員	永井敏博
	同	委員	井上弘
	同	委員	高柳勝己
	同	委員	大東宣之

議会の議決に付すべき公の施設の利用及び廃止に関する条例の一部を改正
する条例

議会の議決に付すべき公の施設の利用及び廃止に関する条例（昭和39年条例第13号）の一部を次のように改正する。

第2条に次の6号を加える。

- (23) 生方記念文庫
- (24) 旧土岐邸洋館
- (25) 旧沼田貯蓄銀行
- (26) テラス沼田トレーニングプラザ
- (27) 旧生方家住宅及び生方記念資料館
- (28) 沼田市歴史資料館

第3条に次の6号を加える。

- (21) 生方記念文庫
- (22) 旧土岐邸洋館
- (23) 旧沼田貯蓄銀行
- (24) テラス沼田トレーニングプラザ
- (25) 旧生方家住宅及び生方記念資料館
- (26) 沼田市歴史資料館

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

議案第47号

沼田市議会会議規則の一部を改正する規則について

沼田市議会会議規則第13条第2項の規定により、首記議案を別紙のとおり提出します。

平成31年3月18日提出

沼田市議会議長 星 野 稔 様

提出者	議会運営委員会	委員長	久保健二
賛成者	同	副委員長	大島崇行
	同	委員	星野佐善太
	同	委員	野村洋一
	同	委員	永井敏博
	同	委員	井上弘
	同	委員	高柳勝己
	同	委員	大東宣之

議会の議決に付すべき公の施設の利用及び廃止に関する条例の一部を改正
する条例

議会の議決に付すべき公の施設の利用及び廃止に関する条例（昭和 39 年条例第 1
3 号）の一部を次のように改正する。

第 2 条に次の 6 号を加える。

- (23) 生方記念文庫
- (24) 旧土岐邸洋館
- (25) 旧沼田貯蓄銀行
- (26) テラス沼田トレーニングプラザ
- (27) 旧生方家住宅及び生方記念資料館
- (28) 沼田市歴史資料館

第 3 条に次の 6 号を加える。

- (21) 生方記念文庫
- (22) 旧土岐邸洋館
- (23) 旧沼田貯蓄銀行
- (24) テラス沼田トレーニングプラザ
- (25) 旧生方家住宅及び生方記念資料館
- (26) 沼田市歴史資料館

附 則

この条例は、平成 31 年 5 月 7 日から施行する。

議案第48号

沼田市自殺対策推進計画の実効性を高めるための決議案について

沼田市議会会議規則第13条第2項の規定により、上記議案を別紙のとおり提出します。

平成31年3月18日提出

沼田市議会議長 星 野 稔 様

提出者	民生福祉常任委員会	委員長	野 村 洋 一
賛成者	同	委 員	桑 原 敏 彦
	同	同	永 井 敏 博
	同	同	井 上 弘
	同	同	高 柳 勝 巳
	同	同	久 保 健 二

沼田市自殺対策推進計画の実効性を高めるための決議案

自殺によって尊い命を絶ってしまう人は、全国で年間2万人を超え、平成21年以降減少傾向にあるものの、2017年度版自殺対策白書によると先進国といわれる国の中で、我が国はワースト6位となり、また、近年では若い世代での死因の1位が自殺となるという悲しい現実がある。

こうした状況の中、国では平成18年に議員立法による自殺対策基本法が成立し、総合対策本部を設置し、基金を活用しつつ自殺の減少に向けて取り組んできた。また、政府は平成28年に自殺対策基本法を一部改正し、翌年には新たな対策大綱を策定し、改めて自殺対策の強化を図るために地域計画策定を義務づけ、本市においても沼田市自殺対策推進計画の策定の運びとなった。

このことを大いに評価・歓迎し、関係者の努力に敬意を表すとともに、この計画に基づき、速やか、かつ具体的取組によって、自殺という悲しむべき事態の減少を心から願うものである。

しかしながら、本市の自殺の現状を見たとき、人口10万人あたりの自殺数から算出する自殺率は、平成28年では全国の16.9人に比べ、沼田市では25.8人。また、特に男性の自殺率については、全国の24.0人と比べ、沼田市では40.9人であり、全国の数値を大きく超え、極めて痛ましい状況である。

そこで、沼田市自殺対策推進計画の策定にあたり、市議会としても本計画を確実に推進させるために留意すべき事項を改めて決議し、これをもって本計画の実効性が高まることを心より願い要請するものである。

記

- 1 ゲートキーパー育成や電話相談体制づくり等「瀬戸際対策」の早期具体化を図られたい。
- 2 自殺事例の詳細分析により、予算措置も含めて具体的な対策を講じられたい。
- 3 本計画の推進体制組織である「沼田市自殺対策庁内連絡会議」及び「利根沼田地域自殺対策連絡会」の定期的な開催とPDCAサイクルの確実な実施をされたい。

上記のとおり決議する。

平成31年3月 日

沼田市議会